

第57回埼玉県鑄造技術コンクール

FC:不二工業 FCD:永井機械鑄造

埼玉県と川口鑄物工業協同組合が主催する「第57回埼玉県鑄造技術コンクール」の審査会が開かれ、審査結果がまとまった。FC(ねずみ鑄鉄)部門では不二工業(株)、FCD(球状黒鉛鑄鉄)部門では永井機械鑄造(株)がそれぞれ最優秀賞に当たった。「埼玉県知事賞」に決まった。不二工業(株)がFC部門の頂点に立つのは2010年の第46回以来11年ぶり5回目。永井機械鑄造(株)がFCD部門で県知事賞に輝くのは12年の第48回以来9年ぶり2回目となる。

昨年(2020年)は新型コロナウイルスの感染拡大で中止となったため、コンクールは2年ぶりの開催。今回はFC部門には8事業所が計9点、FCD部門には15事業所が計15点をそれぞれ出品した。三重県・桑名市・三重県鑄物工業協同組合などの技術交流の一環で、FCD部門

には桑名市内の企業1社から1点の参考出品(表彰の対象外)があった。参加企業はFC部門では前回の12事業所14点(桑名の1社1点を含まず)、FCD部門では前回の14事業所14点(桑名の2社2点を含まず)から増えた。

審査会は10月21日に埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)川口市上青木で開かれた。鈴木克美審査委員長(もろつくり大学名誉教授)をはじめ審査員6人が出席し、厳正な審査が行われた。

FC部門では(株)マスセイが2位に当たる「川口鑄物工業協同組合理事長賞」、前澤工業(株)が3位の「川口市長賞」をそれぞれ獲得。FCD部門では、東洋鑄工(株)が2位の「川口鑄物工業協同組合理事長賞」、(株)永瀬留十郎工場が3位の「川口市

受賞工場・製作者名 (敬称略)

FC部門	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	不二工業(株)	笹川 真
2	川口鑄物工業協同組合理事長賞	(株)マスセイ	田中 雅彦
3	川口市長賞	前澤工業(株)	田中 圭太
4	一般社団法人日本鑄造協会会長賞	(株)椿本鑄工	鳥居 弘幸
5	一般財団法人素形材センター会長賞	(株)大六鑄造	野上 直一

FCD部門 (敬称略)

FCD部門	受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1	埼玉県知事賞	永井機械鑄造(株)	イミヤツミヤツチヨウ
2	川口鑄物工業協同組合理事長賞	東洋鑄工(株)	松尾 友生
3	川口市長賞	(株)永瀬留十郎工場	大谷 充
4	川口商工会議所会頭賞	(株)大西鑄工所	大西 達子
5	埼玉鑄物技能士会 会長賞	(株)マスセイ	渡辺 承樹

長賞」を手にした。講評会と表彰式は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。事業所・製作者への表彰状や記念品などは郵送。入賞者の作品はSAITEC C3階に展示する。

県知事賞

FC 笹川 真さん

FC部門の「埼玉県知事賞」に輝いた、不二工業(株)の製作者は笹川真さん。受賞した時には「聞いた時には実感が湧かず、びっくりしました。今回が3回目であり、以前の問題点を改善しての挑戦となった。「最優秀賞を受賞できる」と思っていたなかったのに、嬉しかった」と喜びを語る。先輩達から指導を受けながら懸命に努力

FC部門の「埼玉県知事賞」に輝いた、不二工業(株)の製作者は笹川真さん。受賞した時には「聞いた時には実感が湧かず、びっくりしました。今回が3回目であり、以前の問題点を改善しての挑戦となった。「最優秀賞を受賞できる」と思っていたなかったのに、嬉しかった」と喜びを語る。先輩達から指導を受けながら懸命に努力

県知事賞

FCD イミヤツミヤツチヨウさん

FCD部門の「埼玉県知事賞」を制したのは永井機械鑄造(株)のイミヤツミヤツチヨウさん。ミャンマーの国立大学を卒業後、CAD(コンピュータ支援設計)技術を持つ高度人材として来日。(株)永井機械鑄造を経て、2月に永井機械鑄造(株)に入社した。3次元CADで鑄物製品の設計や凝固解析のシミュレーションができる技術が生きた。受賞には「まさか県知事賞をいただけると思っていなかった」と嬉しかった。周囲からは期待が寄せられている。

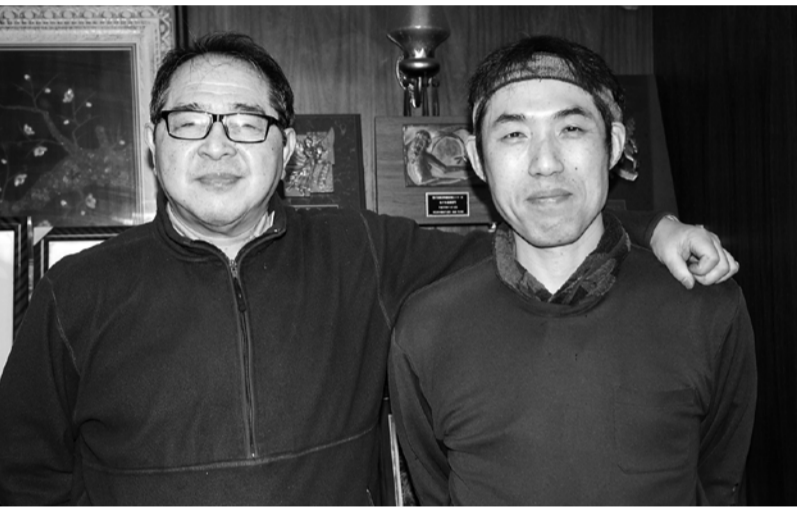
FCD部門の「埼玉県知事賞」を制したのは永井機械鑄造(株)のイミヤツミヤツチヨウさん。ミャンマーの国立大学を卒業後、CAD(コンピュータ支援設計)技術を持つ高度人材として来日。(株)永井機械鑄造を経て、2月に永井機械鑄造(株)に入社した。3次元CADで鑄物製品の設計や凝固解析のシミュレーションができる技術が生きた。受賞には「まさか県知事賞をいただけると思っていなかった」と嬉しかった。周囲からは期待が寄せられている。

第10回鑄造技術コンクール(軽合金) 最優秀賞は(株)田島軽金属 山崎卓志さん

アルミニウム合金鑄物を対象にした「第10回鑄造技術コンクール(軽合金)」は、(株)田島軽金属の山崎卓志さんが最優秀賞に当たる。「川口鑄物工業協同組合理事長賞」に輝いた。2位の「川口市長賞」は(株)飯田合金鑄造所のチャン・ビック・ホンさんが獲得。3位の「埼玉県産業技術総合センター」が主催。埼玉県、川口市、(公財)川

口産業振興公社、(一財)川口工業会館が後援している。鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研究開発の重要性があり、昨今の発展途上国の追い上げ等により、その重要性は今後も「ケース202」益々高くなってきている。そのため同コンクールを実施することにより、鑄物産業の振興と鑄造技術の更なるレベルアップを図ることを目的としている。今回は「ケース202」を観品質の評価②X線透過試験による内部品質の評価③化学成分の分析試験④機械的品質の測定⑤鑄造歩留まり算出⑥寸法精度検査⑦鑄造方案審査⑧の7項目について、それぞれ減点法で採点、総合点を順位を決めた。

なお講評会と表彰式は新型コロナウイルス感染症対策のため中止となった。



「受賞を聞いた時にはびっくりしました」と語る笹川さん(写真右)と入野社長

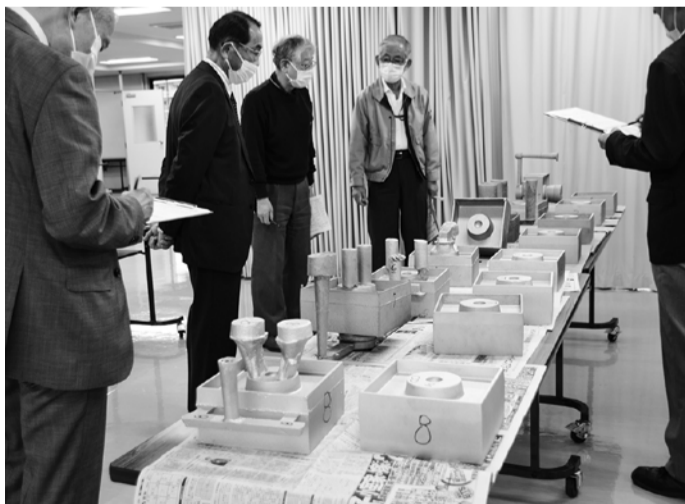


「まさか県知事賞をいただけると思わず、嬉しかったです」と喜びを語るチヨウさん

鑄造技術コンクール(軽合金)入賞者(敬称略)

受賞内容	製作者
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社田島軽金属 山崎 卓志
川口市長賞	株式会社飯田合金鑄造所 チャン・ビック・ホン
埼玉県産業技術総合センターセンター長賞	株式会社田島軽金属 大城 友也

軽合金の鑄造技術コンクールは、川口鑄物工業協同組合と川口鑄物技術センターが主催。埼玉県、川口市、(公財)川



7項目について採点した審査会

オンライン例会

川口鑄物工業企業研究会

川口鑄物工業企業研究会(伊藤暢宏代表幹事)は、10月20日にオンラインでの例会を開催。新型コロナウイルスの影響で高騰の現状と今後の見通しをテーマ。今回は鑄造材料を扱っている商社が講師。

現在鑄物業において最も注目すべき内容である、「材料の仕入れ価格高騰の現状と今後の見通し」がテーマ。今回は鑄造材料を扱っている商社が講師。

「ケース2021」を課題 鑄物メーカーなど 6社10人が参加

第1講座では草野産業(株)関東支店・渡邊隆博課長、第2講座では高沢産業(株)鉄鋼原料事業部東京支店・深山佑二さん、第3講座では花王クエーカ(株)大沼研一朗取締役営業本部長がそれぞれ講師を務めた。質疑応答も行われ、原材料価格の高騰に伴う鑄造業界の現況や今後の動向に対する見識を深めた例会となった。